

高等部 第*学年 国語科 学習指導案

日時	令和5年**月**日(*) 9:20~10:10	場所	高等部*年*組教室
指導者	政井 奈緒(T1)、** ***(T2)		
単元名	「作文を書こう」		
本単元の目標	<p>・事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 (知識及び技能)〈中学部I段階〉</p> <p>・見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。 (思考力、判断力、表現力等)〈中学部I段階〉</p> <p>・自分の思いや考えを文章にまとめたり、伝え合ったりしようとする。 (学びに向かう力、人間性等)〈中学部I段階〉</p>		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・事柄の順序など、情報と情報との関係について理解している。	・見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめている。	・自分の思いや考えを文章にまとめたり、伝え合ったりしようとしている。
単元設定の理由	<p>本グループは、高等部第*学年に所属する男子2名、女子3名、計5名で構成されている。「書くこと」に関して、漢字検定8級(小学3年修了程度)の漢字を習得している生徒や、平仮名を視写しながら文字を書く生徒、促音、拗音、撥音、長音などを苦手としている生徒と実態に違いがあるが、いずれの生徒も自分の経験した出来事を思い出して簡単な文章にすることができる。これまでの単元において、書くテーマを絞り、思い出を文章にしていくときに書きたいことを付箋に書き出すことで、書くための事柄を集めながら内容を整理していく学習に取り組んだ。また、順序や構成を考えながら付箋を配置することができ、文の構成を考えて文章を書くことができるようになってきた。見た様子や感じたこと、そのときの気持ちを述べられるようになっていて、お互いの文章などに対して、感じたことを述べたり、伝えたりすることには課題がある。</p> <p>本単元は、特別支援学校中学部学習指導要領国語科I段階の[思考力、判断力、表現力等]のB書くことAの内容である、「見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめること」に基づいて設定した。学習指導要領解説では、『「見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び」とは、生徒が、身近な生活の中で自分が行ったことや見聞きした出来事の中から、興味や関心に応じて伝えたいことを見だし、決めることを示している。『書く内容を大まかにまとめる』とは、書くために必要な事柄を思い出したり想像したりしてノートやカードに書き出すなどして、内容を整理することを示している。このとき、生徒一人一人の気持ちや経験などを大切に、書く内容を選ぶことができるようにすることが大切である』と述べられている。本単元では、生徒それぞれが経験した高等部の思い出を基にすることで、生徒の活動意欲を引き出し、一人一人の経験や気持ちを大切にしながら書くことに取り組むことができる。たくさんの思い出や経験の中から、文章で残して伝えたい思い出を見出すことで作文に何を書くか決めることができる。また、思い出の事柄を付箋に書き出し、内容を整理することで、書く内容を大まかにまとめることができる。</p> <p>指導にあたっては、高等部の思い出を前単元のインタビューの内容で振り返る。個人の思い出だけでなく、教師からの思い出や経験を聞くことで、高等部の思い出をより鮮明に思い出せるようにしたい。それをもとに、イメージマップで作文に書きたい内容のイメージを広げていく。ここでは教師と生徒のやりとりをして、できるだけ生徒たち自身の経験から出た言葉を大切にしていきたい。イメージマップには、思いついたことや連想することを自分の言葉で思い出し、生徒同士の意見も共有しながら自由に書くように促していく。イメージマップに書き出していくことで、高等部の思い出を生徒同士で広げることができ、書くための事柄を集めながら内容を整理していくことができる。また、生徒同士の学び合いや主体性を大切にするため、イメージマップに記した事柄を見合えるようにし、他の友だちの具体的な表現や良い着眼点に気付けるようにしたい。これらの活動を通して、友だちの思いや考えに触れたり認め合ったりする経験、自分の考えをまとめ相手に分かりやすく伝えたりする経験を積み重ね、伝えたいことを文章にして伝わる嬉しさを味わいながら書く力を身に付けさせたいと考え、本単元を設定した。</p>		

	次	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法
単元の指導計画 (7時間扱い) 本時は第4時	作文を書こう	1・2 「思い出してみよう」	・先生方へのインタビューの回答から高等部の思い出を振り返り、ワークシートに記入する。	・インタビューの回答から内容の時間的な順序に気を付けながら情報を整理している。 (知識・技能) [観察・ワークシート]
		3・④ 「イメージを広げよう」 (本時)	・付箋を使ったイメージマップのやり方を確認する。 ・高等部*年生の思い出のイメージマップを広げる。	・イメージマップのやり方がわかる。 (知識・技能) [付箋・イメージマップ]
			・第1・2時のインタビューの回答とワークシートをもとに、付箋を使い、高等部*年生の思い出のイメージマップを広げる。	・付箋を使ってイメージマップを広げる中で、作文に書く内容を考えている。 (思考・判断・表現) [付箋・イメージマップ]
		5 「文章を作ろう」	・教師とやりとりをしながら、作文に書きたい内容を文章にする。	・イメージマップの中から作文に書きたい内容を書いたり、選んだりしている。 (思考・判断・表現) [ワークシート・付箋・発表]
		6 「作文を完成させよう」	・作文に書きたい内容の順番を決め、「始め-中-終わり」の構成にして文章を完成させる。	・文の構成に気を付けて、文章を書いている。 (知識・技能) [ワークシート・付箋]
		7 「発表しよう」	・発表の練習をする ・発表をする ・振り返りをする	・作文を読んだり、感想を発表したりして、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) [発表・ワークシート]

[本時の指導]

1 本時の目標

「イメージマップを作るために、作文に書く内容を考えることができる。」【思考力、判断力、表現力等】

2 生徒の実態及び個別目標

生徒	生徒の実態	個別目標	自立活動の目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で一度やり方を説明すると、一人でワークシートを進めることができる。 ・出来事を思い出して、文章を書くことができるが、助詞の抜けや誤字脱字は多い。 ・友達に伝わる声の大きさと、ワークシートを読み、内容を発表することができる。 ・気分の浮き沈みがあり、活動に消極的になってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が経験したことの中から、作文に書きたい内容を考えたり、まとめたりすることができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	/
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを穴埋め形式にしたり、選択肢を提示したりすることで、イラストにあてはまる言葉や内容を選ぶことができる。 ・学習の見通しがもてないときや周囲の様子が気になったときに離席や突発的に走り出すことがある。 ・発音が不明瞭なため、教師と一緒に書いた内容を伝えたり、発表をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が経験したことの中から、伝えたい事柄の内容を思い出し、いくつかの選択肢から自分で選ぶことができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	
C	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しがもてないときや自分がやりたい活動でないときには座って授業に向かうことが難しく、離席が多くなってしまう。 ・学習内容を個別に提示し、内容が理解で 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が経験したことの中から、教師からの質問ややりとりを手がかりにして、作文に書きたい内容を考えることができる。 	

	<p>きると、見通しをもって学習に取り組むことができるようになってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師とのやりとりから、出来事を思い出して、自分の言葉で文章を書くことができる。 ・ワークシートの内容を教師と一緒に発表することができる。 	(思考力、判断力、表現力等)	
D	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の説明の後に、個別での説明が必要なことがある。 ・印象に残った出来事について、教師の言葉掛けをきっかけにして、自分の言葉で記すことができる。 ・発表では、ワークシートを見ながら発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が経験したことの中から、作文に書きたい内容を教師とのやりとりを手がかりにして一緒に選ぶことができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	
E	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の説明で学習に取り組めることもあるが、個別での説明が必要なことがある。 ・出来事を自分の言葉で文章にすることができる。 ・起きた出来事を順番に並べ、「～して、～して、～しました。」という文章で日記を書くことができる。 ・ワークシートを見ながら、内容を発表することができる。発表までに時間がかかることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が経験したことの中から、作文に書きたい内容を考えることができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	

3 展開

※形態の表記は 全体:全、グループ:グ、個別:個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て(各Tの役割等)※評価は□で囲む								
全 7	<p>1 はじめの挨拶をする。</p> <p>2 学習内容の確認をする。 (1) 本時の学習の流れを知る。</p> <div data-bbox="261 618 635 875" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈学習内容〉</p> <p>①付せんに思い出を書き出す。</p> <p>②イメージマップを作る。</p> <p>③まとめ、振り返りをする。</p> </div> <p>3 前回の学習を振り返る。</p> <p>4 本時の全体目標を確認する。</p> <div data-bbox="261 1025 635 1133" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みんなで高等部の思い出のイメージマップを広げよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・T1は、授業の始まりが意識できるように、全員が前を向いたことを確認してから、生徒に挨拶を促す。 ・ホワイトボードに学習の流れを提示することで、見通しをもって学習を進めることができるようにする。 ・C用のミニホワイトボードを用意し、本時の学習内容を提示することで、見通しをもって学習に臨めることができるようにする。 ・イメージマップのやり方の例が書かれたワークシートを確認することで、前回の学習を振り返ることができるようにする。 ・T1は、ホワイトボードに書いた目標に注目するように促すことで、本時の目標を確認できるようにする。 								
全 2	<p>5 付箋に思い出を書き出す。 (1) どのようなことを書くのかを確認する。</p> <div data-bbox="261 1290 635 1498" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューをもとに自分の高等部の思い出を書く。 ・友だちの思い出を見て、思い出したことがあれば書いてよい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋に書く内容を確認する。 ・どのようなことを書くとイメージマップが広がるか、意見を引き出す。前時のイメージマップの例をホワイトボードに貼ることで、生徒が視覚的に分かるようにする。 								
個 15	<p>(2) 内容を付箋に書き出す。</p> <div data-bbox="261 1581 437 1671" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>インタビュー 内容まとめ</p> </div> <div data-bbox="261 1686 635 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; vertical-align: middle;">ふり 返り</td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; vertical-align: middle;">高 等 部 の 思 い 出</td> </tr> </table> </div>	ふり 返り							高 等 部 の 思 い 出	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで活動をする。 グループ1:A、C /グループ2:B、D、E ・T1はグループ1を中心に支援をする。 ・付箋に書く内容の手がかりとして、前単元のインタビュー内容をまとめたワークシートを机上に提示する。 ・ワークシートには、グループごと色の違う付箋を6枚貼りつけておく。 ・Aが何を書こうか迷っているときには、T1やCとやりとりをしながら考えをまとめ、整理し思い出を書き出すことができるようにする。 <div data-bbox="662 1883 1442 2024" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A 自分が経験したことの中から、作文に書きたい内容を考えたり、まとめたりしている。</p> <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現) [付箋]</p> </div>
ふり 返り										
			高 等 部 の 思 い 出							

		<ul style="list-style-type: none"> ・T2はグループ2を中心に支援をする。 ・B が書きたい内容を選べるように、思い出をいくつかの例文と写真の選択肢を提示する。ドロップトークにも同様に選択肢と写真を記入しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>B 自分が経験したことの中から、伝えたい事柄の内容を思い出し、いくつかの選択肢から自分で選んでいる。 (思考・判断・表現) [付箋]</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・C はインタビュー内容や自分の思い出を基に、付箋に書き出せるようにする。T1や A とやりとりをしながら付箋に書き出せるようにする。あらかじめ、やりとりの基になる質問内容を用意する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>C 自分が経験したことの中から、教師からの質問ややりとりを手がかりにして、作文に書きたい内容を考えている。 (思考・判断・表現) [付箋]</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・D は「何が思い出に残っていますか。」や「書きたいことは何ですか。」と教師から質問をして、やりとりの中で書く内容を決めることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>D 自分が経験したことの中から、作文に書きたい内容を教師とのやりとりを手がかりにして一緒に選んでいる。 (思考・判断・表現) [付箋]</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・E が伝えたい内容を絞れていないときには「何を一番伝えたいですか。」や「何を一番書きたいですか。」と教師から質問をして、伝えたい内容を絞り込めるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>E 自分が経験したことの中から、作文に書きたい内容を考えている。 (思考・判断・表現) [付箋]</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>イメージマップを作るために、作文に書く内容を考えている。 (思考・判断・表現) [付箋]、[イメージマップ]</p> </div>
全 15	6 付箋に書き出した内容を模造紙のイメージマップに貼る。	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙のイメージマップを囲むように座る。 ・貼り出す付箋を一人ずつ確認し、書いた内容を一緒に読み上げながらみんなに共有する。 ・みんなで出た意見や共有して出た意見は違う色の付箋を貼る。 ・思い出を仲間分けしながら関連するイラストや図を書く。 ・みんなで意見を出し合ったり、共有したりする雰囲気大切に作る。
全 1	7 まとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">思い出を共有すると、作文に書きたいことが広がる。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習のまとめをする。 ・ホワイトボードに完成したイメージマップを貼り、みんなの思い出を共有することでよりイメージマップが広がることわかるようにする。

全 5	8 振り返りをする。 (1) 学習内容の振り返りをする。 (2) 次の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・T1は、ホワイトボードを用いて示すことで、今日の学習で行ったことを振り返ることができるようにする。 ・T1は、振り返りシートを配付する。振り返りの項目を確認し、T1、T2からのフィードバックをしながら本時の学習の振り返りを行う。 ・友だちの意見を意識できていたら、とりあげて発表する。
全 1	9 おわりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の終わりが意識できるように、全員が前を向いたことを確認してから生徒に挨拶を促す。

【板書計画】

国語 「作文を書く」

目標

みんなで高等部の思い出のイメージマップを広げよう。

【例】

学習内容

一 付せんに思い出を書き出す

二 イメージマップを作る

三 まとめ、振り返りをする

付せんに書くこと

ふり
返り

思い出を共有すると、作文に書きたいことが広がる。

まとめ

・インタビューをもとに自分の高等部の思い出を書く。
・友だちの思い出を見て思い出したことがあれば書いてよい。

6 活動時

ホワイトボード

大型テレビ 教卓

5(2) 活動時

ホワイトボード

大型テレビ 教卓